

■沿線地区の住民・企業との連携

■市民・地元企業による様々な支援

(1) 富山港線を育てる会の設立

富山港線の利用促進と沿線地域の活性化を図ることを目的に、沿線自治振興会で組織する「富山港線を育てる会」が設立された。

この「富山港線を育てる会」と、富山ライトレール株式会社、富山市の3者で構成される「富山港線路面電車化支援実行委員会」では、広く市民や企業に公共交通への支援のための寄付を呼びかけた。

(2) 基金の設置

富山市では富山港線の施設の維持や経費の助成のための財源として、「富山港線路面電車事業助成基金」を設置し、広く市民・企業から寄付を募った。

(3) ベンチドネーション

各電停に設置されるベンチの記念寄付を市民や企業から募り、寄付をいただいた方々の氏名・企業名及び記念メッセージを刻んだ金属プレートをベンチに取り付けた。

(4) 電停の個性化壁への協賛

沿線の特徴や伝統などを広くPRすることで、地域の振興や活性化を図ることを目的とした「電停個性化スペース」を各電停に設けた。この企画に対する協賛を、地元企業に呼びかけた。

(5) 新電停の命名権の譲渡

新設駅に対する駅名の命名権を有償で譲渡する募集を行い、地元企業2社より支援を得た。

富山港線路面電車化支援実行委員会では、基金への寄付を募っています

市民の皆様、経済界の皆様方には、日頃から富山市の発展と市民生活の向上に格別のご理解、ご尽力をいただいておりますことに対し、深く敬意と感謝を申し上げます。

この度、富山市では富山港線を路面電車化し、高頻度運行による利便性の向上や超低床車両を導入するなど、市民生活を支える安全で安心な魅力ある公共交通機関として再生することいたしました。このため、市民参加による積極的な支援をお願いしたいと考えております。

つきましては、富山港線はもとより各公共交通機関が富山市の発展と住民福祉の増進に必要な不可欠な施設であることをご理解いただき、これらを市民ぐるみの熱意と力で活性化させるため、富山市への寄付として広く基金への協力を仰ぎたいと思います。

どうかお一人でも多くの皆様方のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

●「公設民営」方式と基金

富山港線の路面電車化にあたっては、「公設民営」と呼ばれる「公共」と「民間事業者」が役割分担する方式がとられます。具体的には、

- ・公共（富山市）は施設の維持・修繕・改良などの費用を支援します。
- ・富山ライトレール株式会社は、運営に責任を持ち、利用者に快適で安全なサービスを提供します。

このことから、富山市では富山港線路面電車事業助成基金を創設しました。

●富山港線路面電車化支援実行委員会とは

富山港線路面電車化支援実行委員会は、沿線自治振興会で組織する「富山港線を育てる会」と「富山ライトレール株式会社」並びに富山市の3者で構成し、広く市民や事業者等へ基金への参加（寄付）を呼びかける組織です。

寄付の方法について

寄付金は一口1万円から何口でもお受けいたします。また、現金を持参いただいてもお受けいたしますようお願い致します。

また、お振込みの場合は、お振込み先を必ずお知らせください。お振込みの際は、必ず必要事項を記入し、地区センターまで納付をお願いします。

実行委員会

富山港線路面電車化支援実行委員会

〒930-0808 富山市

富山港線路面電車化支援実行委員会

〒930-0808 富山市

富山港線路面電車化支援実行委員会

〒930-0808 富山市

富山港線路面電車化支援実行委員会

〒930-0808 富山市

富山港線路面電車化支援実行委員会

〒930-0808 富山市

富山港線路面電車化支援実行委員会

〒930-0808 富山市

富山港線路面電車化支援実行委員会

〒930-0808 富山市

富山港線路面電車化支援実行委員会

〒930-0808 富山市

富山港線路面電車化支援実行委員会

〒930-0808 富山市

富山港線路面電車化支援実行委員会

〒930-0808 富山市

富山港線路面電車化支援実行委員会

〒930-0808 富山市

富山港線路面電車化支援実行委員会

〒930-0808 富山市

富山港線路面電車化支援実行委員会

〒930-0808 富山市

富山港線路面電車化支援実行委員会

〒930-0808 富山市

富山港線路面電車化支援実行委員会

〒930-0808 富山市

富山港線路面電車化支援実行委員会

〒930-0808 富山市

富山港線路面電車化支援実行委員会

〒930-0808 富山市

富山港線路面電車化支援実行委員会

〒930-0808 富山市

富山港線路面電車化支援実行委員会

〒930-0808 富山市

富山港線路面電車化支援実行委員会

〒930-0808 富山市

富山港線路面電車化支援実行委員会

〒930-0808 富山市

富山港線を多く利用いただく多くの方に地域の個性を紹介する「電停個性化スペース」を電停内に設けています。このスペースは、地域のシンボルや伝統などを表現し、広くPRすることにより、地域の振興や活性化を図ることを目的としています。是非、この趣旨をご理解いただき、多くの皆様方のご協力を賜りますようお願いいたします。

■デザイン 富山市在住若しくは富山市内勤務の15名のデザイナーが各電停を担当し、テーマに沿ったデザインを作成しました。
※第1次募集で実施の可能性が有ります。

■サイズ タテ1,700mm×ヨコ3,749mm/1面

■料金 富山港線 1面 1,000,000円/5年間(消費税込)
その他の電停 2面 1,000,000円/5年間(消費税込)

■スペース 富山港線は6面、その他の電停は2面(上り、下り各1面)

■スポンサー名 スポンサーになっていただいた方の氏名を刻印いたします。

■その他 ・スポンサーになっていただければ幸いです。
・お問い合わせいただければ幸いです。
・ご不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。

■個性化スペース完成予定図

電停個性化スペース

個性化スペース
・地域のシンボル
・歴史などを紹介

案内スペース
・路線図、時刻表等

広告スペース
・企業広告スペース

Copyright(C) 2005 Toiyama Light Rail Co., Ltd.

■電停個性化壁に対するスポンサーの募集

あなたの記念(名前や会社名、メッセージなど)を電停ベンチに刻みませんか? 新路線(富山港線)に設置されるベンチの記念寄付を募集します。

富山ライトレール株式会社では、新路線(富山港線)の13の電停にベンチを合計168基設置します。この設置事業に対して、記念寄付を1基50,000円で募集します。設置されるベンチには、ご寄付をいただいた方々の氏名や企業名及び記念メッセージ(例えば、ご結婚やお子様の誕生祝いなど)を刻んだ金属プレートが取り付けられます。人生の節目や様々な出来事の記念として、ご寄付をお願いいたします。なお、ご寄付いただいた方には、ベンチ1基につき2,000円分の乗車カードを1枚差し上げます。

あなたの記念寄付が、みんなの利用する168基のベンチに生まれ変わります。思い出づくりにもお役立て下さい。みなさんの多数のご応募、お待ちしております。

記念プレート及びベンチのデザイン(例)

記念プレート
20文字以内(応募者名や電停番号と4桁以内の番号は必ず入力) メッセージ例:「○○ちゃん、誕生日おめでとう!」
※乗車券番号(10文字以内)は必須

ベンチ
※乗車券を使用した折り畳み式ベンチ

http://www.t-lr.co.jp/

■電停ベンチへのドネーション募集

I-4. 富山市の取り組みの論点

【取り組みの特徴】

- 前提として、「公共交通を軸に市街地のコンパクト化を図ることが必要である」という市の基本方針が存在する。
- その推進に向けて、「既存の公共交通の利便性向上により公共交通軸に沿った市街地形成を誘導する」という考え方で、公共交通のサービス水準向上に対して行政が先行投資を行う。
- その第一段階として、富山港線のLRT化を実施しており、4月より運行を開始している。
LRT化事業では、駅の新設や運行サービスの向上（運行間隔の短縮、運行時間の拡大等）、駅を中心とした沿線のまちづくりを行っているほか、沿線地域のバス路線の再編（フィーダー化）に向けた取り組みも進めている。

【主な論点】

①富山港線のLRT化に係る事業費負担について

… 今までにない公民分担の枠組み（公設民営方式）をいかに実現したか

- ・ 公共投資の目的と公民分担の基本的な考え方
 - － 行政：施設の整備、更新改良 / 三セク：運行サービスの提供
- ・ 国の補助金の活用
 - － 連立負担金、LRTシステム整備費補助、路面電車走行空間改築事業 等

②交通結節点を中心とした地区形成に向けた取り組みについて

… 市街地整備等に関する取り組み内容および今後の展望・アイデア

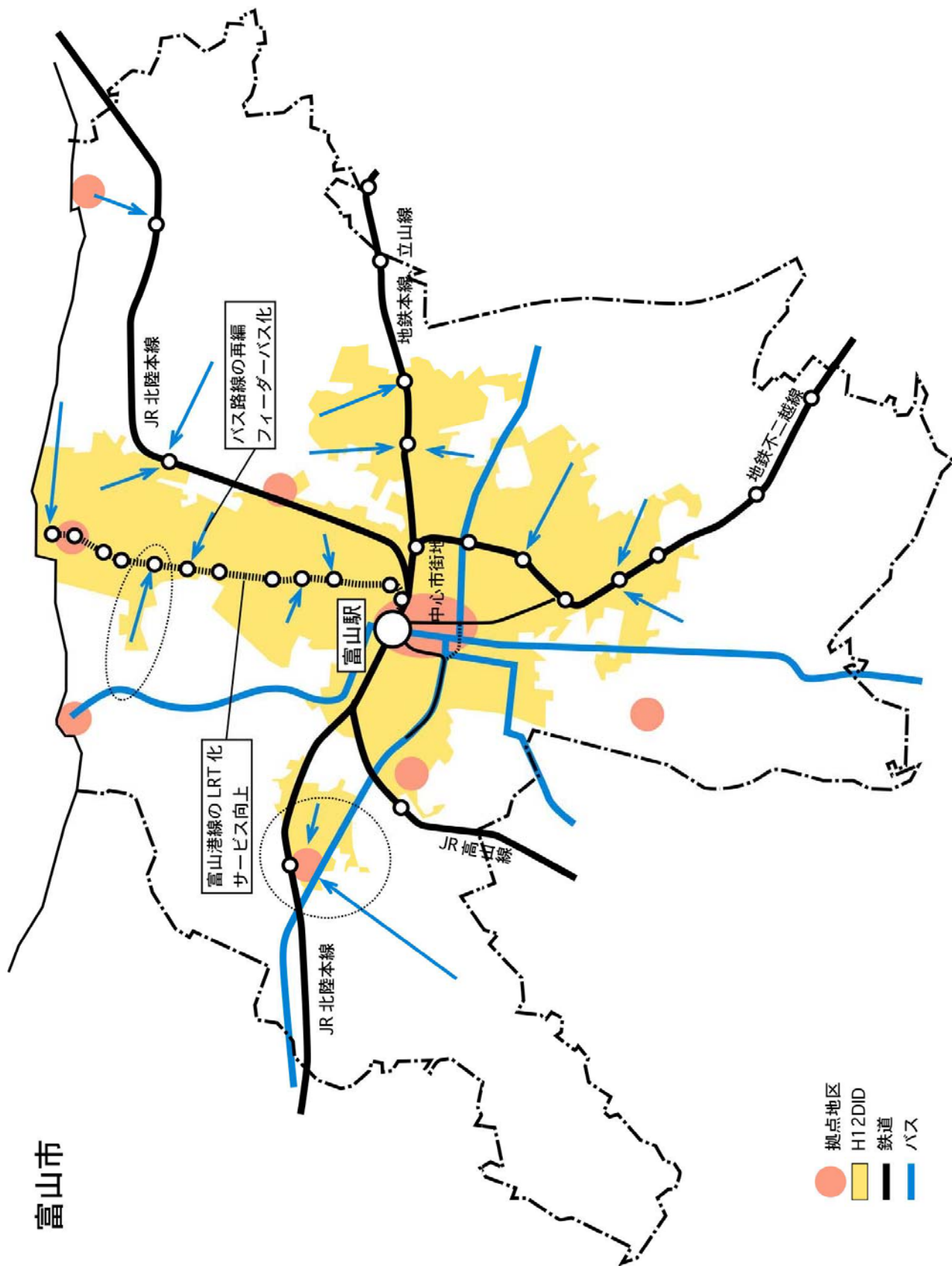
- ・ 交通結節機能の強化
 - － 乗換え利便性の確保、駐車場・駐輪場整備 等
- ・ 結節点周辺への導入機能
 - － 住宅（高齢者用住宅等）、コミュニティセンター、医療・福祉施設、日用品商業施設 等
- ・ その他
 - － LRTを活用した観光拠点整備（岩瀬浜地区）
 - － 駅舎計画等に対する地域住民の参加、地元企業等の協賛

③LRT化事業並びに沿線まちづくりによって見込む効果について

… どのような効果項目を捉えるべきか、どの程度の効果が期待されるか

- － 利用者数、機関分担率の変化
- － 所要時間短縮
- － 中心市街地への来訪者の増加
- － 岩瀬浜地区における観光客数の増加
- － 市民の満足度 等

富山市



II 三郷市

II-1. 公共交通を軸とした将来都市像とまちづくりの基本的方向

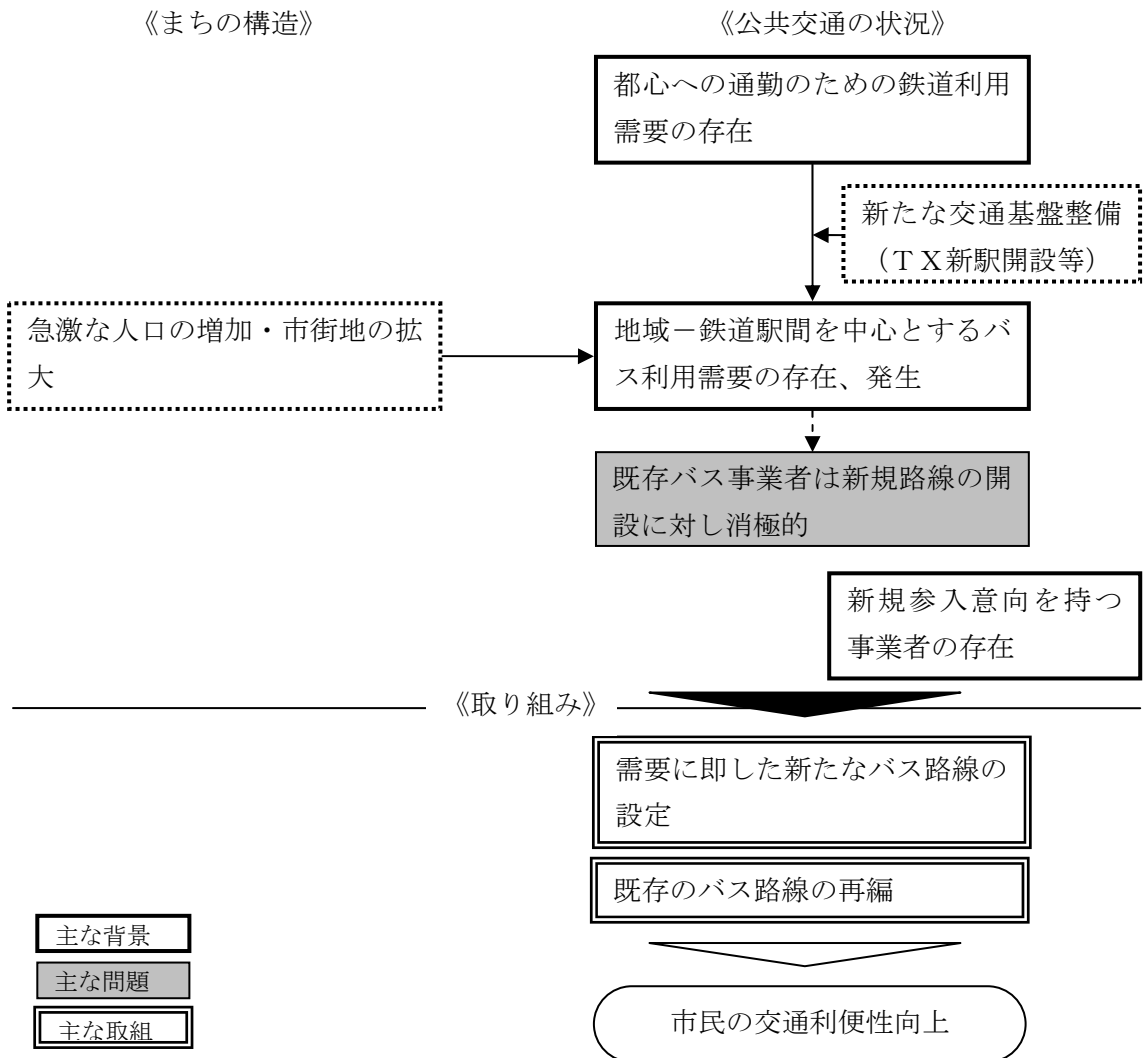
【背景・問題意識】

○市街地拡大、新たな交通基盤（T×等）整備等による都市構造の変化を背景に、バスに対するニーズが変化。市民からバスサービスの向上について大きな要望が存在。

【基本的方向】

○市民ニーズに対応したバス交通の拡充、再編を図り、市民の移動の利便性を向上する。
○鉄道駅を利用する通勤交通が多いため、市内各地域から鉄道駅までの移動を自動車からバスへ転換することが、バス路線の拡充、再編にあたっての重要な視点である。

■背景と基本的方向



■従前の市民要望

・平成11年度の市民意識調査では、「力をいれてほしい施策」として「市内バス網など公共交通機関の整備・拡充」が最も多く、33.7%の市民が要望するなど、大きなニーズが存在。